

開講日	2023年秋期 木曜日18:30(出発時刻)-20:00(到着予定時刻)	講義場所 受講資格	受講条件:周産期プロバイダー (分娩に携わる全ての職種メンバー) Webレクチャーに対応できる方
コースディレクター (ツアーコンダクター)CD	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター産婦人科 教授(診療担当) 尾崎康彦		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】分娩は“十人十色”ですが、共通する願いは一つ。それは“安全で安心なお産”です。令和の時代になり、またさらにコロナ禍において少子化の歯止めが効かない日本でも、ハイリスク分娩は確実に増加しています。ひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、常に進化しより濃厚なものになっています。世界に誇る高いレベルの日本の周産期医療を維持してさらに向上させるためには、分娩に携わる医師、助産師、看護師、救急救命士、薬剤師や心理士らがよりハイレベルの知識と技術を身につけて“チーム医療”を構築することが重要です。今回初めてツアーに参加される方や更なる“極み”や“深み”や“高み”を追求したい“常に一歩前に突き進む！前のめりな”リポーターの方々にも必ず満足していただけますよ、今年度も“ここでしか言えない、後世に伝えたい症例”を随所に織り込み、汗をかいていただきながらストーリーを展開させます。日常の周産期現場のライブ感溢れる「Birth Tour 2023」へようこそ。物語を完成させるのは貴方です！今年もスタッフ一同、新企画を準備して皆様のパッションに応えるべく、ご参加をお待ちしております。尚、例年お馴染みの「見切り発車オーライ！」に加えこのご時世です。<b>ツアープラン、オプションツアーやパスプランは予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。</b>開始時間は集合時間ではありません。出発時間は厳守です。しっかりと準備し、そして振り返りながら木曜日ゴールデンタイムの熱い夜のオールスターキャストをお楽しみ下さい！</p> <p>【期待される成果】日本は依然として深刻な産婦人科医師や助産師などの産科プロバイダー不足の状態です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援する(背中を押す)ことを目標とします。また助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで、不足する産科医と協力しサポートし合うことができます。院内助産所(パースセンター)の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救急救命士が妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。周産期医療従事者の“サロン”的な場を提供します。是非、お仕事の合間の「夕活」にお役立て下さい。このツアーを切り口に、さらなる周産期教育のコミュニティが“時空を越えて”形成されています。“地域のお産を守る！”ためにも、今年も“安全なお産をめぐる冒険”はさらにパワーアップしてロングランを更新します。</p>
目標とする 資格	<p>将来NCPR(新生児蘇生法:日本周産期・新生児医学会)やBLSO・ALSO Japan、J-CIMELSなどの講習会を受講し資格の取得を目指す方や、振り返りをしたい方に役立つ内容を盛り込んでいます。</p>

サブカテゴリー	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1, D-1	1	Birth Tour 2023 - DEPARTURE - 安全なお産をめぐる冒険 “チーム STEPPS” 始動!	“おめでとうございます”の喜びと不安の中で、十月十日の旅が始まりました。“安全で安心なお産”を目指して、合い言葉は「チームSTEPPS」。これが流行りのステップです。さあ医療チームとしての共通言語、メンタルモデルを共有しましょう!	9月7日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科)
L-2, RHO-1	2	胎児超音波検査 “赤ちゃんに会ってみよう!”	1980年代半ば以降、超音波断層法によりブラックボックスに光が射込みました。「形や大きさだけでなく機能や(間接的に)染色体まで見えるんだ!」って話や、検査時の妊婦さんとコミュニケーションのコツまで伝授していただけます。	9月14日	産婦人科医師 熊谷恭子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
L-3, D-2	3	“いい感じ(well-being)”を目指して 胎児心拍数モニタリングを極める!	胎児の“元氣”を知るための検査方法を紹介します。特に最近、クライトリアがバージョンアップされ、にわかに議論の活発な胎児心拍数モニタリング法を先取りします。自分がタギ(頻脈)る、手に汗流る症例を共有しましょう。	9月21日	産婦人科医師 青山和史(実務家教員) 市立恵那病院産婦人科
L-4	4	“黙る子も啼く”新生児蘇生法 NICU発祥の地・名古屋市大ソッド完全公開版!	最新の“児受け”をNCPRマスターとスーパー助産師が優しく手ほどきします。新生児蘇生法インストラクターが2020年最新バージョンを指導します。いまだに“頭が出たらすぐ鼻から”吸っていませんか?逆さずりは新生児虐待です。	9月28日	准教授 加藤文典(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(小児科)
L-5, RHO-2	5	陣痛の魔術師 “切迫早産・陣痛誘発最前線”	目的地到着予定時刻は37週0日から41週6日までの5週間です。早くても遅くてもそれはリスクです。陣痛を調整するナビゲーションを搭載しましょう。システムは常にバージョンアップされています。世界中の最新の方法を紹介します。コックピットにはMRさんは絶対入室禁止です。知っているといかないやハイ、ハイ、ハイの話を聞きたいよね?	10月5日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科)
L-6, RHO-3	6	こころとからだに寄りそう生殖医療とケア	不妊症や妊娠は成立するが、その後流産や死産を繰り返して生児を得られない不育症。“患者さんからだ(肉体的)こころ(精神的)に優しい流産治療法であるMVAと共に、生殖医療とケアの最新情報をわかりやすくご紹介いたします。	10月12日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科) 他(TBA)
【ハイブリッド開催】L-7, VR	7	胎動 “もう一つのメッセージ”	「胎動を見逃す者は、胎動に泣く」その胎児の叫びを貴方は捉えることが出来るか?入魂の企画です。妊婦さんに優しい世界を目指して。TVでも紹介されています。小坂先生の“MommyTummy”のVRの世界観へようこそ!今回はハイブリッド(事前予約制 ※コースの中で案内します)でお届けします。お楽しみに!	10月19日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科) 准教授 小坂崇之(工学) 東海大学 他(TBA)
L-8	8	<ダブルフューチャープログラム> “最強のメンタルサポートチーム” ①妊婦さん・授乳婦さんの正しいお薬の使い方 ②妊娠と出産によって揺らぐ心口	①胎盤を通過して胎児に移行したり、おっぱいに出てくるお薬もあります。専門家のお話ですから妥協は無し、「XXXセンター」のホームページを見てください。などと、もうごまかしは出来ません。②周産期におけるメンタルヘルスは大切なトピックスです。寄り添う姿勢を一緒に学びましょう。	10月26日	①薬剤師 加藤順子 名古屋市立大学病院 薬剤部 ②臨床心理士 三木有希 医療法人清慈会鈴木病院
D-3	9	新日本Birth Tour紀行 2023 “病院前分娩 ご当地便利編”	愛知県産婦人科の枕つと二つも三つも高いつけて知ってましたか?安息を守る、頼もしい彼らの「病院前分娩の実践」や「救急救命士が対応した院外出産症例」の報告です。“ちよと待った!”日本各地の仲間も参戦し、その勇姿を紹介します。魅惑のミステリートレイン企画です。	11月2日	救急救命士 井戸田康二(名古屋市消防局) 田島典夫(小牧市消防本部) 神田里美(チーム群馬) 他(TBA)
L-9, RHO-4	10	異常分娩なう “正常分娩からの逸脱~貴方ならどうする?”	「分娩の三要素」をチェックリストとして、常に異常を感知する研ぎ澄まされた五感が必要です。“お産の安全神話”はいとも簡単に音も立てずに崩壊します。異常分娩のサインを見落とさないように、あてはまらないその時に備えましょう。スピード感溢れる動画が満載です。	11月9日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科)
L-10	11	産科麻酔の最前線 硬膜外分娩と帝王切開の周術期管理 “安全で痛くない出産は夢か?幻か?”	硬膜外分娩(無痛分娩)って、どう思いますか?近年、硬膜外分娩への関心は高まっていますが、過去には不幸な医療事故もありました。いかに安全かつ効果的な硬膜外分娩を実現させるのか?一緒に考えましょう。帝王切開の麻酔・周術期管理も進歩しています。まだ術後は痛いのが当たり前と思いませんか?術後の食事はいつ始まりますか?産婦さんに負担の少ない周術期管理について考えましょう。	11月16日	教授 田中基(実務家教員) 名古屋市立大学病院 麻酔科・無痛分娩センター
D-4	12	苦いカルテ “後世に伝える症例” (症例検討・ディベート)	命を預かる者として「善戦した。しかし全滅した。」などは決して許される事ではありません。何故そうなったのか?どこにポイント・オブ・リターン?があったのか?再び遭遇した時にどう対処するのか?胸にしまったカルテの封印を敢えて解き、黙ってあの世に持っては行けない“リアル”な思いを伝えます。大好評の戦慄のプログラムは今年も...	11月30日	birth tour 安全なお産を目指し隊 助産師 長谷川節恵 他(TBA)
D-5	13	チームで創る硬膜外分娩の実践 “ゴッドハンドか?専門家チームか?” (症例検討・ディベート)	分娩においても人のゴッドハンドが全てを担うという幻想は現実的ではなく、チームの重要性にスポットライトが当たるようになってきた。「チーム医療」と一言で言っても、臨場現場のスピード感の中では多くの難題を抱えることになる。実際に関わったスタッフを中心に、チーム医療の問題点から目を背けず正面から受け止め、製作したシナリオを用いて未来の硬膜外分娩の形を考えていく、渾身の企画です。乞うご期待!	12月7日	教授 田中基(実務家教員) 名古屋市立大学病院 麻酔科・無痛分娩センター 尾川祐紀(実務家教員) JCHO船橋中央病院 周産期科・麻酔科 feat. パフォーマンス集団“チームSAKURAYAMA”
L-11	14	赤ちゃんが生まれた後も危険がいっぱい “分娩後の異常にもご用心”	“赤ちゃん生まれました!おめでとうございます!!” 妊婦さんや家族の安堵の表情にホッと安心のはずが...実は母体死亡の約40%は胎児娩出後に起こっています。大量出血や血栓症など危険がいっぱい。そんな異常に最初に気付けるのは皆さんです!	12月14日	講師 菊地範彦(実務家教員) 信州大学附属病院産婦人科
L-12	15	Birth Tour2023 - ARRIVAL - “誕生 THE LIVE”	“オベ出し”、“児受け”や“お迎え”で今まで見ることの出来なかった帝王切開を動画を提供し、術中のチェックポイントを解説します。古くて新しい、アニメーションも紹介します。貴方は既にハイリスク分娩に対して“安全なお産”をサポートできています。Birth Tourを振り返り(デブリーフィング)ながら、誕生の喜びをかみしめましょう。最新の秘蔵動画も初公開します。“新たな旅”に向かって!お楽しみはこれから!	12月21日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター(産科婦人科)